

香川大学は、「持続可能な世界を実現する」ための17の目標と169のターゲットの達成に向けた教育研究活動等を推進します。

Play the Mission! 世界とともに未来を創る

香川大学 × SDGs ACTION

SDGs（持続可能な開発目標）は、国際社会における多様な課題に対する意識の啓発と、その解決に向けた行動を促すものであり、地球規模の課題への挑戦であるとともに、国や地域が直面している社会的課題の解決に寄与するものです。香川大学では、第4期中期目標・中期計画に「SDGsの取組の強化」を重要施策の一つとして掲げ、地域の多様な環境や資源の保全・活用や地域の課題を探索し、持続可能な社会の創造につながる取組を推進します。令和3年12月に学長戦略室のもとに「SDGs推進タスクフォース（TF）」を設置し、全学的な推進体制により取り組んでいます。このたび、本学のSDGsに関する学内リソースをホームページに集約した特設ページを開設しましたので、お知らせいたします。

香川大学 SDGs ホームページ https://www.kagawa-u.ac.jp/sdgs_action/



香川大学支援基金 ● ご支援いただいた方は税制上優遇措置が受けられます

香川大学 研究等支援特定基金について

2020年に、香川大学では、イノベーション創出の中核となりうる若手研究者、特に学生又は不安定な雇用状態にある研究者への研究等支援を目的として「香川大学研究等支援特定基金」を、香川大学支援基金内部に創設いたしました。

本特定基金は、前述した若手研究者に向けて、研究活動及び活動報告に関する費用、異分野研究者との交流支援などにかかる費用等を負担し、イノベーション創出の種火となるよう若手研究者を支援するものです。

本特定基金への個人からの寄付については、税額控除制度及び、香川県内にお住まいの場合は、住民税控除の対象にもなっております。税制上の優遇措置については、右記香川大学支援基金ホームページにおいて説明しておりますので、ご参照ください。

皆様からのご支援に応えられますよう、香川大学はこれからも地域の地の拠点として全力で取り組んで参ります。

ご寄附の方法が選べます

■クレジットカードを利用した寄附のお申し込み
ご利用いただけるクレジットカードの種類は下記のとおりです。



■振込用紙を利用した寄附のお申し込み

振込用紙を利用した寄附を希望される方は、メール(kikin@kagawa-u.ac.jp)により、住所・氏名・電話番号をお知らせください。後日、払込取扱票を送付いたしますので、お近くの金融機関の窓口からお振込みください。ゆうちょ銀行・郵便局又は百十四銀行・香川銀行から振込まれる場合は振込手数料はかかりません。その他の銀行などをご利用の場合は手数料をご負担いただくこととなります。詳しい情報はホームページからご覧いただけます。

香川大学から感謝を込めて

■ご寄附いただいた方全員

ご了承を得て、ご芳名を大学ホームページ等に掲載し、末永く顕彰いたします。

■個人10万円以上、法人・団体30万円以上寄附された方

感謝状と記念品の贈呈/学長より感謝状と記念品を贈呈いたします。銘板による顕彰/ご芳名の銘板を学内に掲示し、末永く顕彰いたします。

香川大学支援基金ホームページ
<https://www.kagawa-u.ac.jp/kikin/>



香川大学から保護者の皆様へ



香川大学

OLIVE 通信



香川大学広報室 〒760-8521 香川県高松市幸町1-1 tel.087-832-1027 kouhou-h@kagawa-u.ac.jp

2022.4

新たな研究のかたちを目指して

大学の研究は、教員一人ひとりの自由で自発的な発想に基づいて、これまでにない新たな価値を創造することを目指して行うものです。自由な発想から生まれたアイデアは、仲間の研究者から高い評価を得ることもありますが、時には革新的であるが故に仲間の研究者から賛同を得られないこともあります。このような評価や批判を乗り越えながら、新たな知の創造に向けて研究は進められてゆきます。教員の発意に基づく研究は、常に大学の研究の中心となるもので今後もこのような形での研究は行われてゆきます。

一方で、社会にはどう取り組んで良いかわからない複雑な課題があります。その困難さ、複雑さのゆえ、解決へのチャレンジには誰もが二の足を踏むことになります。そもそも大学の研究成果によって解決できる課題ではないかもしれません。しかし、それら課題の解決の糸口を見出すことは大学の重要な使命であります。



香川大学 副学長
(情報・研究・IR・特命担当)
松木 則夫

イノベーションデザイン研究所は、企業の人たちと大学の様々な分野の教員が、社会の持つ様々な課題に共同研究という形で取り組むため、香川大学の組織として2018年に設立されました。共同研究の成果は、企業が製品などの具体的な形となり、成果が社会に還元されてゆきます。ところが、企業が取り組む研究の中には、具体的な製品やサービスに直接結びつかないが、どうしても取り組まなければならない大きなテーマや社会的な課題に係るテーマがあります。そのようなテーマは、大学との共同研究という形で実施するのが難しい現実がありました。

2022年度から、幸町キャンパスの正門近くに新営されたイノベーションデザイン研究所の3階建施設を中心に、新たな取組を始めることになりました。それは、産学共創リサーチ・ファームという取組です。大学の研究者と、企業の制約から少し離れた身分を持つ企業の研究者、そして研究活動を支援する人材がチームを組み、既存の学問分野をこえて、各分野の研究の成果の「総和」に留まらない、様々な課題に対する解決に向けた新たな「知」を生み出す取組です。このような活動は今までの大学の研究活動には無かった新しい研究の形です。

これらの活動が、社会が持つ複雑な課題に対して、小さくても確実な一歩を踏み出すことになると信じて産学共創リサーチ・ファームの取組を進めて行きます。

